

着地は熱情であらねばいけない。

石岡瑛子  
Eiko Ishioka

デザイン  
design

2024年9月28日(土) - 12月1日(日)

開館時間 10:00-18:00 ※入場は閉館の30分前まで 休館日 月曜日[ただし10月14日(月・祝)、11月4日(月・振休)は開館、10月15日(火)、11月5日(火)は休館]

主催 兵庫県立美術館、読売新聞社 / 監修 Team EIKO(石岡伶子、河尻亨一、永井裕明[N.G.inc.])

特別協力 公益財団法人DNP文化振興財団、株式会社DNPアートコミュニケーションズ / 企画協力 迫村裕子(S2株式会社)

協賛 J/HL/EIDO 公益財団法人伊藤文化財団、公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部 / 協力 PARCO

観覧料 一般 1,600(1,400)円、大学生 1,000(800)円、高校生以下無料、70歳以上 800円、障害者手帳等をお持ちの方[一般] 400円、障害者手帳等をお持ちの方[大学生] 250円  
( )内は前売料金(一般、大学生のみ)、前売販売期間 6月5日(水)~9月27日(金)(会期中は販売しません) / 一般以外の料金でご利用される方は証明書を観覧当日ご提示ください / 障害者手帳等をお持ちの方1名につき、介助者1名無料 / コレクション展は別途観覧料が必要です(本展とあわせて観覧される場合は割引があります) / 混雑時は人数制限を行いますのでお待ちいただく場合があります / 団体鑑賞をご希望の場合は1ヶ月前までにご連絡ください

[主なチケット販売場所] ローソンチケット(Lコード: 51890)、チケットぴあ(Pコード: 686-960)、セブンチケット(セブンコード: 106-066)、楽天チケット、イープラス、CNプレイガイド、アソビュー!

「New Music Media」音楽祭ポスター(1974)部分

石岡瑛子が  
ここに  
いる



石岡瑛子 ©Kazumi Kurigami 1983

- 1 「太陽に愛されよう 資生堂ビューティケイク」資生堂ポスター(1966)
- 2 「女性よ、テレビを消しなさい 女性よ、週刊誌を閉じなさい」角川書店ポスター(1975)
- 3 EXPO '70 日本万国博 日本万国博覧会ポスター(1970)
- 4 「地獄の黙示録」映画ポスター(1979)
- 5 「あゝ原点。」PARCOポスター(1977)

### 関連イベント

オープニングトーク  
 石岡瑛子とここにいる一時代を超える「I」をめぐる一  
 出演：河尻亨一(編集者・銀河ライター/本展監修者)  
 永井裕明(アートディレクター/本展監修者)  
 日時：2024年9月28日(土) 14:00-15:30(開場13:30-)  
 会場：ミュージアムホール 定員：150名  
 ※先着順、要観覧券、芸術の館友の会会員優先座席あり  
 スペシャル対談&館長とっしょ! 二人でEIKOを語る  
 出演：小池一子(クリエイティブ・ディレクター)、  
 喜多俊之(プロダクト・デザイナー)  
 日時：2024年10月20日(日) 14:00-15:30(開場13:30-)  
 会場：ミュージアムホール 定員：150名  
 ※先着順、要観覧券、芸術の館友の会会員優先座席あり  
 学芸員による解説会  
 出演：10月19日(土)、11月30日(土)  
 いずれも15:00-15:45(開場14:30-)  
 日時：レクチャールーム 定員：80名 ※先着順  
 ※その他イベントの詳細は当館HPをご覧ください

## 石岡瑛子は問いかける。 その仕事に「I」はあるか?

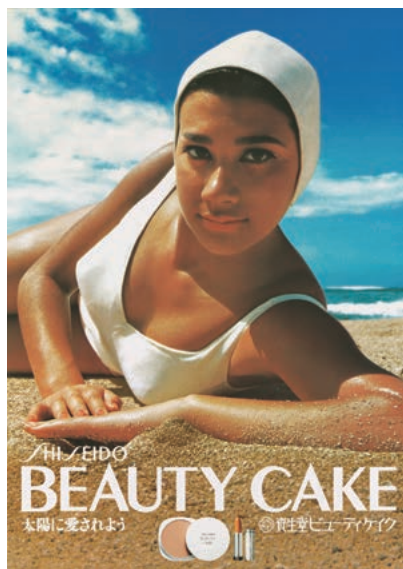
没後10年をへて国内外から再び注目を集める石岡瑛子(1938-2019)。広告、舞台、映画など表現のジャンルから国境までを超え、世界的に活躍したデザイナーです。

本展では瑛子が、東京を拠点にしていた1960年代の仕事を中心に、センセーションを巻き起こしたポスターやCM、アートワークからスケッチまで400点以上の作品を一挙公開します。

表現者にとつて大切なのは「ほんとうの自分力」を培うこと。つまり「私」を磨き抜くこと。瑛子はその信念を胸に、革新的ビジュアルを生み出す創造の旅を続けました。

写真や映像、イラストなど多様な分野のトップランナーたちとの協働作業を重ねながら。

本展は石岡瑛子のクリエイションの核となる「I」に迫ります。いまなお熱を放つビジュアルと瑛子自身の言葉に、時代をも超越するデザインの生命力を体感してください。これは「回顧展ではありません。石岡瑛子は、ここにいます。いまを生きたるあなたをインスパイアするために。」



### 同時開催の展覧会

コレクション展II  
 わたしのいる場所—コレクションから「女性」特集!  
 (小企画)美術の中のかたち—手で見る造形 北川太郎展  
 2024年8月20日(火)–12月8日(日)

Ando Gallery 当館2F(入場無料)

### 横尾忠則現代美術館での同時開催の展覧会

レクイエム 猫と肖像と一人の画家  
 2024年9月14日(土)–12月15日(日)

### 交通案内

阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から徒歩約8分  
 JR神戸線灘駅南口から徒歩約10分  
 阪急王子公園駅西口から徒歩約20分  
 JR三ノ宮駅南から神戸市バス(29・101系統)にて約15分、  
 「県立美術館前」下車すぐ  
 地下駐車場(乗用車80台収容・有料)  
 ※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください



〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 [HAT神戸内]  
 1-1-1 Wakinohama Kaigan-dori,  
 Chuo-ku, Kobe City 651-0073 Hinside HAT Kobel  
 tel.078-262-1011 <https://www.artm.pref.hyogo.jp/>

